

栃木県立宇都宮白楊高等学校

かんぴょうチーム

高校生ボランティア・アワード2023



「かんぴょうでみんな楽しく食育活動」

活動概要

2015年から現在に至るまで、ユウガオの栽培に取り組んでいます。収穫したユウガオの実を夏休みに、かんぴょう剥き機で保育園児の前や小学生たちの前でかんぴょう剥きを行い、栃木の食文化であるかんぴょうについて交流をしながら後世に繋げる活動を行っています。この活動を通して、かんぴょうの歴史や文化の伝承などを説明し、給食のメニューとして提案してもらえる活動にまで発展した。さらに、市の中心部であるオリオン通り広場で、市民の人たちに向けて、かんぴょう剥きを行ったり、生徒がかんぴょうについて調べた研究内容について、発表などを行った。今年は夏休みを使い、保育園でかんぴょう剥きを行い、かんぴょうづくりを体験させ、かんぴょうに興味を持たせる活動をした。保育園ではできたかんぴょうを給食に提供して食べるなどの食育活動に発展をした。



「かんぴょうを後世に繋げるために」

活動の目的

かんぴょうは栃木県の特産物で、古くからの地域の特殊作物である。現在、高齢化や海外からの輸入などにより、生産量が年々減少している。このままでは、かんぴょうが地域からなくなることが考えられる。そこで、かんぴょうに興味を持つ仲間を集め、ユウガオを栽培してかんぴょうを作り、かんぴょう農家の課題解決や地産地消の推進などの広報活動を地域で行った。かんぴょうを通して、郷土の歴史や文化を理解する心を育む子供たちになってほしいと歴代のユウガオチームは、かんぴょうの歴史や料理、栽培方法、農家の課題などを紹介しています。

「活動目標」

- 1 かんぴょうの好きな子供たちを増やす
- 2 かんぴょうの歴史や食文化を正しく理解する
- 3 かんぴょう農家の課題を知り、解決策を見出す
- 4 地域の農業を理解して郷土愛を育む

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)



ユウガオの定植



伝統農法 間作 麦とユウガオ



手剥きの道具



手剥きのかんぴょう



地域のユウガオ畑



かんぴょう農家の庭先

「かんぴょうの魅力を知ってもらい農家の役に立ちたい！」

今後の展望

昨年はコロナ禍のため、かんぴょう剥き交流会は、3年ぶりに感染拡大の予防策を取りながら、活動を行いました。園児たちと距離を保ちながら、制限をもうけて、保育園児の前で、ユウガオの説明やかんぴょうができるまでの説明をしました。

干す作業ではかんぴょうの匂いや手に触れて感触を体験しながら丁寧に並べました。かんぴょうについての歴史や調理方法などを調べるため、地域の博物館や農家、石碑などを調査して、わかったことや農家さんの体験談などを文章にまとめ、園児たちの前で発表などを行いました。

私たちの活動を地域の話題として、新聞記事に掲載してもらいかんぴょうの生産拡大や問題点などを考える機会としたいです。コロナ禍でもできることを見つけ、地産地消の推進のための活動を展開したいです。今後は校内に地域の農業についてのパネル展示を行い、来校した人たちや保護者に向けて、かんぴょうの消費拡大に繋がる活動を展開して、農家さんの役に立ちたいと思います。



活動団体プロフィール

かんぴょうを愛する仲間が集まり始めた活動です。メンバーの一人にかんぴょう農家の後継者がおり、リーダーシップを発揮してチームを引っ張っています。今年は栽培する面積を増やし、多くの人たちにかんぴょう剥きを見てもらいたいと思っています。